

特定非営利活動法人
団体名 **あえりあ**

事業名

医療・福祉・介護の有資格者による 有償ボランティア「さぼんて」の 障害児者モニター企画

活動拠点 札幌市

設立の経緯

看護師や有償ボランティアの経験から、「医療・福祉・介護の資格を持っている人と、そのサポートが必要な人が、つながり合い、助け合えるような、橋渡しをしたい!」と考え、NPO法人あえりあを設立しました。



私たちはこのような活動をしている団体です

医療・福祉・介護の有資格者と、サポートが必要な人が、つながり合い助け合えるプラットフォーム「さぼんて」、医療・介護の専門職による健康教室、気付いたら福祉や介護に触れちゃう「あえりあマルシェ」、介護に関するセミナー、医療的ケア児者との外出企画などを実施しています。つながり合い助け合う橋渡し役を担い、支え合える社会をつくることを目指しています。



「さぼんて」を活用し障がい者の QOL向上を目指すモニター企画

医療の進歩や高齢化により、障がいや疾患、加齢に伴う課題とともに、地域で生活する人が増えています。今後も増加が予測されるなか、医療保険・介護保険・福祉サービスのみでは満たしきれないニーズの増加も続いています。そんな課題解決のために立ち上げたのが、医療・福祉・介護の有資格者とそのサポートが必要な人がつながり合えるプラットフォーム「さぼんて」。いわゆる“自費サービス”や“保険外サービス”ではなく“有償ボランティア”であることで、有資格者が地域の中で活躍できるのが特徴です。本事業では「さぼんて」を活用して、障がい児者とその家族のQOL向上を目的とするモニター企画、さらに課題抽出を行いました。札幌市在宅福祉活動団体ネットワーク主催「健康まつり」ほか、各種イベントや学会に参加して広報活動も実施しました。

制度や思いでは担いきれない ニーズを発信し札幌市との連携も実現

モニター企画と併行してアンケートやヒヤリングを実施し「介護の大変さを改めて痛感した」「頼ることや話すことの大切さを感じた」などの感想を得ました。課題抽出や対策検討を行い、改善に向けた取り組みへとつなげています。また実際に「さぼんて」を利用している人の声をまとめたフリーペーパーを作成・配布し、家族の介護がまだ必要ではない方々に向けて介護者の思いや制度だけでは満たし切れないニーズがあることの発信も行いました。学会での名刺交換から大学での講演依頼を受けるなど、「制度のみでは担いきれないすまみ」での看護職の活動を伝える機会もありました。令和7年7月からは札幌市教育委員会での「さぼんて」利用が始まり、理学療法士と介護士が小中学校の宿泊学習に同行しました。令和8年も連携拡大に向けた検討が進んでいます。



※詳細なインタビュー記事はこちらから
https://aeria-hp.com/category/report_saponte/